

日本がん・リンパ浮腫理学療法研究会
第4回緩和理学療法カンファレンスの企画書

Ver.1

日本がん・リンパ浮腫理学療法研究会
第4回緩和理学療法カンファレンス
準備委員会

【テーマ】「緩和ケアにおける EBM と NBM の融合」

開催趣意

緩和ケアとは、生命を脅かす病に関連する問題に直面している患者とその家族の QOL を、痛みやその他の身体的・心理社会的・スピリチュアルな問題を早期に見出し的確に評価を行い対応することで、苦痛を予防し和らげることを通して向上させるアプローチであると WHO は定義しており、早期からの関わりが大切であるとされております。また年間 100 万人近くが、がんと診断される昨今において緩和ケアとしての関わりはより重要性を増しているとも言えます。

がん診療において **evidence based medicine (EBM)** が重要とされるのに対して、緩和ケアでは個々の患者に応じた個別のきめ細やかな対応も重要であるとされています (**narrative based medicine : NBM**)。緩和ケアにおける学術活動を包括的に眺めると、EBM に関すること NBM に関することがそれぞれ独立して形成されていることが多くなっています。

そこで本カンファレンスでは「緩和ケアにおける EBM と NBM の融合」とし開催いたします。緩和ケアの第一線でご活躍されている医師、理学療法士から NBM、EBM についての知見をご教示いただき、参加者の皆様とのディスカッションで融合を進められたらと思っております。

明日からの緩和理学療法の臨床に役立つ機会となるように準備を進めて参りますので、ご参加いただけたら幸いです。

学術大会概要

1. 名 称 日本がん・リンパ浮腫理学療法研究会第4回緩和理学療法カンファレンス
2. 会 期 2022年11月26日(土曜日)
3. 会 場 オンライン
4. 実行委員長 大段 裕樹(北見赤十字病院)
5. 準備委員長 加藤 直也(手稲溪仁会病院)
6. 準備委員 森山 武(市立函館病院)
宮城島 沙織(札幌医科大学附属病院)
鈴木 謙吾(北見赤十字病院)
7. 参加者見込 300人
8. 最少催行人数 300人
9. 一般演題 5題
10. 事務局 (大学・病院名) 手稲溪仁会病院
〒006-0811 北海道札幌市手稲区前田1条12丁目1-40
(担当者名) 加藤 直也
TEL : 011-681-8111
E-mail : yrpts@yahoo.co.jp

11. 学術大会企画

○講演①

- テーマ 「在宅緩和ケアの実践・目指すもの」
講師 柴田 岳三 先生(緩和ケアクリニック・恵庭)
司会 松村 和幸 先生(手稲溪仁会病院)

○講演②

- テーマ 「緩和理学療法の実際(EBM・NBMの視点から)」
講師 佐藤 明紀 先生(北海道文教大学)
講師 細谷 有希 先生(ホームケアクリニック札幌)
司会 大段 裕樹 先生(北見赤十字病院)